

会 議 録

会 議 名	第48回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<p>1 議案</p> <p>(1) 令和5年度市民活動支援センターの事業計画(案)について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 市民活動支援センターの登録状況について</p> <p>(2) 市民活動支援センターの利用状況について</p> <p>(3) 第3回こまめカフェの開催について</p> <p>(4) 学習会(助成金・NPO法人・パソコン)の開催結果について</p> <p>(5) 「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル 2022」 第5回市民活動元気アップふえすたの開催結果について</p>
日 時	令和5年2月1日(水) 午後2時から午後3時40分まで
場 所	野田市役所高層棟8階 旧レストラン会議室
出席委員	<p>会 長 竹澤 勇司</p> <p>副会長 立山 喜弘</p> <p>委 員 武智 多恵子、岩井 勝治、北倉 恵美子、加藤 眞智子</p> <p>名代 ちよ子、芝田 栄太郎</p>
欠席委員	無し
事務局等	<p>市民生活部長 宮澤 一弥</p> <p>市民生活課長 田中 洋介</p> <p>市民生活課長補佐 大野木 亮二</p> <p>市民生活課コミュニティ係長 荒木 智子</p> <p>市民活動支援センター長 関口 一夫</p> <p>主任コーディネーター 釜田 正雄</p> <p>コーディネーター 荒井 ハツヨ、渡邊 勝男</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p>
傍 聴 者	無し

議 事	第48回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
<p>1 開会</p> <p>事務局から開会を宣言。</p> <p>会議の成立について報告。</p> <p>会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。</p> <p>傍聴人の申出がなかったことを報告。</p> <p>2 市民生活部長挨拶</p> <p>宮澤市民生活部長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>議長（竹澤会長）</p> <p>議案（1）の審議の前に、関連する報告事項（1）から（5）についての報告を受けてから議案（1）を審議することにしたいが、良いか各委員に問うた。</p> <p>《異議無し⇒了承》</p> <p>報告事項（1） 市民活動支援センターの登録状況について</p> <p style="text-align: right;">（資料 報告 1））</p> <p>議長（竹澤会長）</p> <p>報告事項（1）について、説明を求めた。</p> <p>向佐支援補助員</p> <p>報告事項（1）「令和4年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。</p> <p>議長（竹澤会長）</p> <p>報告事項（1）について、委員に意見を求めた。</p> <p>各委員</p> <p>特に無し</p> <p>議長（竹澤会長）</p> <p>意見がないようなので、報告事項（1）については、以上を報告事項とする。</p> <p>報告事項（2） 市民活動支援センターの利用状況について</p>	

議長（竹澤会長）

報告事項（2）について説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項（2）「令和4年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（2）について、委員に意見を求めた。

芝田委員

相談業務がかなり減っているが、これは、コロナの影響で減ったのか。

それと、令和4年度の8階旧レストラン会議室とイオンノア店内会議室の利用について、昨年より利用件数が増えているが、コロナ禍前の利用状況のどの辺まで回復したか伺いたい。

関口センター長

相談件数の推移については、市の補助金、助成金関係ということで、合計32件減少している。相談件数34件のうち、32件が助成金に絡むもので、令和3年度はコロナの影響で活動ができていないので、助成金の相談が多かったという状況である。

8階旧レストラン会議室については、今のところ1と2と分けて貸し出しているが、毎日いろいろな団体がバランスよく利用しており、金曜日は予約が少ないが、貸出しできない土曜日を除いて、他の日は大体埋まっている。

芝田委員

8階旧レストラン会議室は、従来通りずっと使用できるという解釈でよいか。

関口センター長

本来であれば、イオンノア店内会議室で集団接種が行われていなければ、8階旧レストラン会議室は貸出しができず、イオンノア店内会議室に移ってもらうことになる。イオンノア店内会議室で集団接種をやっている間の暫定的な利用、ということになる。

北倉委員

コロナ禍であっても、利用があり、市民活動がされていることは大変よかった。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（2）については、以上を報告事項とする。

報告事項（3）第3回こまめカフェの開催について

（資料 報告 3）

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について説明を求めた。

関口センター長

報告事項（3）「第3回こまめカフェの開催について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について、委員に意見を求めた。

立山副会長

こまめカフェは3回目になるが、すばらしい企画だと思っている。ただ、我々も、活動している団体も、だんだん高齢化していて、新人の加入者は、ほとんどいない状況である。だから、現役の方、子どもを育てている母親などに入ってもらい形を作らないと、なかなか幅広い活動ができなくなるという気がしているが、今までやってきた感じとしては、成果があったのか。もし、これで状況が良いのであれば、年に1回と言わず、必要があれば何回か開催して、そういう仲間づくりの場を提供してもらえばよいと思っている。今までの結果と今後を含めて話を伺いたい。

釜田主任コーディネーター

過去2回開催しており、特に1回目の令和元年のときは、初めての開催ということで、大勢の方に参加していただいた。市民の方がそこに参加している団体に加入して、継続的に活動している、という報告は聞いている。2回目についても、登録団体に加入者があったと聞いている。一つのきっかけづくりとして、成果は出ていると思う。この他、センターの方では、毎日こまめカフェ、という形で、コロナ禍でなければもっと気軽に立ち寄っていただけるような工夫もして、新しい会員募集を行いたい。登録団体も多いので、会員の拡大につなげていきたいと思っている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（3）については、以上を報告事項とする。

報告事項（4）学習会（助成金・NPO法人・パソコン）の開催結果について

（資料 報告 4）－1～5）

議長（竹澤会長）

報告事項（4）について説明を求めた。

荒井コーディネーター

報告事項（４）－１～４「学習会（助成金・NPO法人）の開催結果について」を説明した。

向佐支援補助員

報告事項（４）－５「学習会（パソコン）の開催結果について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（４）について、委員に意見を求めた。

立山委員

様々な助成金があるが、これはどこが窓口となり、申請を受付しているのか。実は、公益財団法人日本生命財団の生き生きシニア活動というのに申請しようと準備をしていたが、もう窓口は締め切りました、と言われた。これは、どこに募集案内が届き、どのように募集をしていたのか。どこと直接やりとりをすればよかったのか伺いたい。

釜田主任コーディネーター

まず、生き生きシニア活動の助成金は、日本生命本部が千葉県に、募集等について委託をしており、千葉県の福祉部門が市町村の福祉部門に募集案内を送付している。野田市の場合、高齢者支援課に募集案内が流れてくる。それを市民生活課が受けて、市民活動支援センターの登録団体の中で、該当しそうな団体に声をかけている。申請窓口は、市の高齢者支援課となり、市から県に、県から本部に、という流れで申請している。もう一つ制度があり、千葉県は県の社会福祉協議会に推薦案内を出し、県の社会福祉協議会から市町村の社会福祉協議会に下りてきて、野田市の社会福祉協議会が野田市と同じように、団体に案内をしている。これは、野田市の社会福祉協議会が窓口になって受付をして、県の社会福祉協議会に上げる、という申請方法である。野田市の場合、高齢者支援課と社会福祉協議会の二つの窓口で、それぞれ3団体の推薦枠があり、申請を受付している。

岩井委員

毎年、この報告を聞くたびに、すばらしい成果だと思っている。知らない方もまだまだたくさんいると思うので、こういう募集があることを市報で掲載することは可能か伺いたい。

田中市民生活課長

市報は、PR推進室の業務であるため、掲載できるか確認したい。

名代委員

これだけの金額を補助していただけるのは、本当に有り難いと思っている。補助を

受けるということは、それなりに活動しているからということなので、そういう活動をしている団体名を公表していただきたい。補助金を頂いている団体なら、活動をきちんとしていると思う。そういう団体だったら、少し行ってみようかなという気持ちにもなる。皆さんが知らない団体が多いと思うし、これからの活動で何かしようといったときにも参考になるので、是非公開していただきたい。

荒井コーディネーター

団体にこれだけの補助金を出したというのは、それぞれの財団等のホームページに公表される。

センターができて 10 年近く経ち、助成金も 8 年くらい継続して、今、約 130 団体が登録されており、市や民間の助成金を受け、今回は衣装、次回は備品といったように、活動を広げている。そういうふうに広げている団体は、どんどん助成金も取れており、これからの助成金の学習会の在り方もどうしようかと、悩んでいる。

名代委員

活動している、というのが公の場所で言えるのは、広報誌など、とても少ないと思う。身内だけで分かっているのでは駄目だと思う。野田市に住んで、仕事が終わってから何かしようかな、という人も、少し分からない、というのがあるので、助成金を頂いたり、こういう活動をしているというのは、公に分かってもらうというのが大事な、と思っているので、よろしくお願ひしたい。

釜田主任コーディネーター

市民活動つうしんで、市の補助と団体紹介というコーナーを作って、一般市民の皆さんに、新活動団体の団体紹介コーナーという形で、団体活動、例えば市の補助金を使っている団体を取り上げて、こんな活動にこんな補助金を使ってこんな成果が出ている、というのを掲載している。野田市全体では、取組事例集でまとめているが、一般市民向けとしては、つうしんの団体紹介の中で、市の補助金をもらった団体、それから民間の助成金をもらった団体のことも幾つか考えているので、その中で、助成金、補助金を使ってこんなことができているという団体紹介をやればいい、と思っている。飽くまでも、団体が活動を活発にして、活動資金をもらってやっている状況を、登録団体等もちろんだが、一般市民用で公民館、図書館などで配布するつうしんにも紹介している。

名代委員

少しずつ出しているのは、自分に合う団体を探すのに時間がかかる。一気に出せないのか、と思う。後ろめたい感じで補助金を頂いている感じがあるので、正々堂々と申

請して、活動して認めてもらって補助金を頂いているのに、今の説明でも、補助金を頂いたのを隠して活動しているみたいな雰囲気、言葉の端々に出ている。他の団体が補助金を頂いていたら、相当な活動をしているから、こうやってみようかな、とか。その細々した感じは、止めていただきたい。

釜田主任コーディネーター

市民活動団体の補助金を、取組事例集として冊子にして配り、ホームページに載せて、市民にも紹介している。もちろん、補助金をもらった団体について、団体の紹介と、補助金を使ったらそれはどういう成果を収めたか、という事例集を発行している。

私が説明したのは、民間の助成金は、それぞれの助成団体が、自分のその趣旨に合った団体、こういう助成をしている、ということ、既にホームページで出している。それを、全く違う野田市が成り代わって全部打ち出すのは難しいから、もらった団体が、実績の中で、助成はこういうふうに使っているよと紹介できたらいい、とお答えした。

関口センター長

今回の助成金の報告だが、飽くまでもセンターで指導させていただいた分だけ記載されており、指導した関係上、報告を頂いているので、これだけの指導をさせていただいた、という報告である。

実際に、生き生きシニアの場合も、この年は2件助成金を受けている。社会福祉協議会経由でも申請しているので、市としては1件。次の夢まる福祉支援事業は、15万円1件だが、こちらは、市としては2件、30万円頂いている。こちらについては、1団体からはセンターに相談はなく、申請した結果、採択されている。上の15万円は、本来30万円頂いているが、センターで指導したのが1件だったという報告で、民間助成金を頂いている全部を把握しているわけではないので、お知らせするのは、センターで知っている範囲になる。

名代委員

野田市以外からもいろいろ出しているというのは、委員になって初めて知ったので、是非市民の方にも分かりやすいように報告していただけたら、と思っている。

議長（竹澤会長）

助成金を頂いた団体は、頂けることによって自分たちが取り組んできたことに対して誇り、自信を持てるような結果につながって当然だと思う。

今、センター長から説明があったが、センターのみならず、この報告のページで、

懸賞金も頂いている団体もあるということである。黙っていても、認めていただいた団体の方々から、いろいろ情報が流れていくと思うので、もう少し一般の方にも報告を、ということも分からないでもない。必要なことだと思うが、少しずつ流れを持ってきていけばいい。

他に意見がないようなので、報告事項（４）については、以上を報告事項とする。

報告事項（５）「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル ２０２２」

第５回市民活動元気アップふえすたの開催結果について

（資料 報告 ５）

議長（竹澤会長）

報告事項（５）について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項（５）「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル ２０２２」

第５回市民活動元気アップふえすたの開催結果についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（５）について、委員に意見を求めた。

芝田委員

閑宿に住んでいる住民の方から、昨年のフェスティバルに参加して、野田ガスホールで舞踊を行った、という話も聞いた。けれども、前列の数人しか見ている人がいなかったということで、非常に驚いた。コロナ禍ということで、そういうことよりも、こういう大きな舞台で、皆さんに経験していただく。練習もやって、そういう違った角度からの意味合いも考えていただければ有り難いという話はさせていただいた。

来年度も１２月に行うという話があったが、本来、いろいろな団体同士のきずなとか触れ合いも重要である。運営スタッフとして、市民ふれあいハートまつり、福祉のまちづくりフェスティバル、市民活動元気アップふえすたのスタッフの皆さん方も、今までより一層関わり合えたのではないかと思います。スタッフ、参加団体の方々、それなりに意味合いの大きな事業を行ったのかな、と感じている。

北倉委員

初めての合同イベントが、無事に問題もなく終了されたことは、大変よかったと思う。報告書を見ると、やりたいという市民がこれだけいる。それを見に行きたいという人は余りいないけれども、やりたいという人がいる野田市なのだということをまず理解した。

市民活動ふれあいフェスティバルは、もうやったもの勝ちだよというアピールを、次からはやったらいかがか。誰も観客はいないけれども、こんなに楽しく歌えて、踊った。何だか分からないけれど発表したよ、という非日常の体験ができるというところは、一つの切り口なのではないかと思う。もちろん、ガランとした会場に市長がお座りになったホールは、少し寂しかったが、市民の皆さんが生き生きと発表できたということは、とてもよかったのではないかと思う。

課題は、見に来る人にとって魅力がなかったということに尽きるのではないか。これだけ広報をしている。市報、まめバスにも貼ってあるし、自治会の回覧も回ってくる。これ以上の広報はないと感じているので、これをやっても、一般の方が見に来てくれないというのは、日頃のつながりが、あの人が出るから行ってみようかという気持ちの人が少ないのではないか。それは自身に問うてみなければ分からないが、まず初めてできたので、来年が楽しみである。

加藤委員

野田ガスホールで司会をさせていただいたが、こういう大きい舞台で発表ができたということが、自分たちの団体にとって初めてのことですごうれしかった、という話があった。

私が一番感じたのは、参加団体の人たちが、どうしてももう少し自分たちの友人、知人を招待しなかったのかなど。私も今は辞めているが、朗読の団体を持っていた。いちいのホールでやっていたが、1団体だが100名の友人はメンバーで集められる。だから、参加するのが精一杯だったのかなという感じはあるが、参加するなら一人でも多くの人に声をかけて、参加団体自体が集客していただきたいということは、すごく感じた。

武智委員

三つの組織が一つになってやったことの成果はあったと思う。この意義が自分たちのもののように思えるような、やり方かなという気がする。日頃よく会っている方には出会えたが、珍しい方たちが来ている、という感じは、残念ながらしなかったと思う。

私も、いきなり受付に行ったから、どれだけの人がうまく見たり聞いたり参加できるかというのも悩んだことで、会場に行ったところでは本当にガラガラだったし、物をもらえるところは、たくさんの方が参加している。皆さんが言ったことと同じだが、もう少しこの文化、社会、人のつながり。そういうことの大切さをどこで主張しながら私たちの役割を果たしていくかということは、これからやる中では大切かなと

思う。子ども連れてせっかく参加したので、どこで物をもらえるの、という方もいらっしやる。そこで子どもと会話して、あの辺は面白いことになるのよという話をしたが、それよりも大人が物をもらえるところを探していた。気持ちはよく分かるが。

本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

北倉委員

朝、公民館の講堂で、ポスター展示会というか表彰式が行われていた。初めて目の当たりにして、ああいう形で親子にこの会場に足を運んでもらうというのは、すごくいいアイデアだと思った。他のところでも、そういうのを活用するといいいかな、と思う。何か行く用事がなければいけないという催しだとしたら、何か行くきっかけを作って、そのために親子が来て、そして 30 分、1 時間遊ぶというようなプログラム構成はありだな、と感じた。

名代委員

私自身は欠席してしまい、申し訳なかった。親の会は、これまで書籍、日用雑貨の販売をしていたが、テント代が少し高かったということで、親の会は参加をやめた。あと、食事をするところがなかったのも、帰ってしまった。食事を、外でもいいのでできると、もう少し皆ゆっくりできるのではないかと思う。大体が、舞台上で自分の出番が終わったら、帰ってしまう。出番が終わったらもういい。食事が無いので、帰らざるを得なかったというところもある。

外のテント代が、多分 6,000 円だった。それを払うということで、親の会は参加をやめた。つくしんぼも、6,000 円も払ったら、どうせ儲からない、といった感じになってしまったが、今年の予定を、もし分かったらお願いしたい。

釜田主任コーディネーター

令和5年度は、これから企画を煮詰めていくが、参加団体、参加者の御意見の中にも、食事のことが出ている。寒い中、外でということは、コロナ対策があった。以前までは親の会の御協力を得て、2階の会議室で、軽食喫茶コーナーという形で、交流も含めて、おいしいコーヒーを出していただいたが、これができなかった。これは、コロナの状況次第である。事務局としては、ある程度滞在してもらうためには、何かの仕掛け。温かい飲物や食事が必要と思っているので、許されるのであれば、建物の中での食事場所の提供。あと、外の販売の場合、今までのふれあいハートまつりを聞いていると、もっと販売が多かったが、コロナの関係で、保健所には事前にお話をし、感染対策をすることによって可能である、という了解のもとに、実際に出店したのは、二八会のそば屋だけということがあったので、どうしても昼食の提供ができな

かった。

コロナ次第というのがある。食事については、来場者からも参加団体の方からも、中での飲食は御遠慮いただいて、外に飲食コーナーとして、テーブルと椅子を設置した。なぜ外で、寒いのではないかという意見があった。御不便をかけたので、何とか食事場所、交流を含めてできないかというのは、親の会に御相談して、何とか建物の中で、これまでと同じような提供をしていただければ有り難い。

あと、参加団体から、展示や体験をやっていると、外に食べに行けないから、以前やっていたお弁当の取りまとめをお願いしたいと言われているので、いつも安価で提供していただいているので、実費相当分で構わないので、提供していただければ有り難い。

テント代については、所管が違うので、元気アップふえすたの方では申し上げることができない。

議長（竹澤会長）

食事関係の話がいろいろあった。実際、自分も受付をお手伝いさせていただいたが、非常に寒かった。出入口のそば屋さんに行きたいなと思いながらやっていた。

実際、受付で、そば屋はなぜ午前中で終わってしまったのか、という質問があった。申し訳ございません、とお答えしたが、寒い時期にまたやるのであれば、今年の12月に終息に入るのかは分からないが、そういう希望が非常に多いというのはよく分かったので、少しでもこの場を楽しもうという形で、足止めができるようなものであれば、安全に影響はないような形で、検討していただければ有り難い。

他に意見がないようなので、報告事項（5）については、以上を報告事項とする。

議案（1） 令和5年度市民活動支援センターの事業計画（案）について

（資料 議案（1））

議長（竹澤会長）

議案（1）について説明を求めた。

関口センター長

議案（1）「令和5年度市民活動支援センターの事業計画（案）について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議案（1）について、委員に意見を求めた。

岩井委員

フェスタは、普通、午後から人が増えるところだが、午後から急に寒くなり帰った人も多かったが、この第6回のフェスタは、12月3日であるが、例えば11月までに開催してもらえれば、寒さが大分違うと思うが、可能か伺いたい。

釜田主任コーディネーター

参加団体からの意見も、事務局からもそういう意見や要望が出ており、昨日、代表者の連絡会議を開催し、日程について議論した。現時点では12月3日。前日の2日が準備で、文化会館、中央公民館、総合福祉会館を仮予約している。文化会館については、他の団体の予約が既に入っているため、現時点では12月3日であるが、11月に仮予約をしている団体が、現時点では確定ではないということで、借りなくなる可能性もあり、そうすると12月3日ではなく11月19日になる可能性もあるということで、事務局としては、何とかそこを空けていただくよう、お願いしているところである。

北倉委員

8月の野田夏まつり踊り七夕は、実施は確定か。

関口センター長

実施について確認はしていないが、例年の市の事業として、8月の第1週に予定されているため、書き込んだ。これまでも、やる予定であったが、コロナの関係で中止になっており、踊り自体がなくなったということではないので、御理解いただければと思う。

北倉委員

第6回市民活動元気アップふえすの件で、市がバックアップしてくれているイベントだということを初めて実感した。市の職員が全部分かっていて、要所、要所に立ち、何か困ったことがあったら聞いてください、という丁寧なお声掛けを頂いていたからこそ、私の受付の担当ができた、という思いがある。

他の部署も見渡すと、それぞれの担当課がバックアップして、市民活動を支えてきていただいていたというのが初めて分かったので、こんなふうに市民活動を盛り上げてくださっているというのが、新しい発見であった。

芝田委員

毎年、団体で前日に展示用の重いパネルを運んでいたが、今回は、担当の職員が全部会場まで運んでくれて、大変助かっている。片付けは、展示した人が運んだが、参加団体は、正直に言って、年々年を取っていき、若い人が余り入ってこないから、本当に助かった。重いパネルについて、何とかならないかと提案したが、お金がかかる

から、あのパネルを使うしかない、という回答だったが、運んでもらい助かった。

あと、ポスター展は、社会福祉協議会等の主催で行う、ふれあいハートまつりの単
独開催のときは、小中学校のブラスバンドやコーラス部を呼んでいたのですが、もっと保
護者が多かったと思う。今回は、合同開催のため時間もなく、呼ぶことができなかつ
たが、開会式には、小中学校のブラスバンドやコーラス部を呼ぶことができればよい
と思う。

議長（竹澤会長）

他に意見がなければ、議案（１）については、了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

田中市民生活課長

次回の運営協議会の日程について、４月２６日（水）で開催したいと考えている。時
間は今日と同じ午後２時から、場所は８階大会議室で開催したいが、どうか。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、４月２６日（水）に決定する。

田中市民生活課長

議題については、支援センターの登録状況や利用状況などを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。